## ウイルスセキュリティソフトの設定について

【JUSTSYSTEMS 社 Kaspersky の場合】 画面はパージョン 6.0 の場合です。 基本的には、初期設定のままで特に設定は必要ありません。必要な場合は、下記の設定を 行ってください。

1. 画面右下のアイコンを右クリックし、「カスペルスキーインターネットセキュリティを 開く」を選択してメインメニューを起動します。



完全スキャン ウイルススキャン… 更新処理
ネットワークモニタ ネットワークトラフィックを遮断する
アクティベート 設定 カスペルフキーインターネットセキュリティを問く
保護の一時停止
終了 🎟 🖘 日和2 👄 🛩 🖬 Kana 🗸 🔏 13:30

2.メインメニューが表示されましたら、「設定」をクリックします。



3.設定画面が表示されましたら、「アンチハッカー」を選択します。



4.アンチハッカー内の「設定(<u>S</u>)」をクリックします。

K 設定: カスペルスキーインターネットセキュリティ 🔹 💷 🛽				
<ul> <li> <b>設定</b> </li> <li>             プロテクション         </li> <li>             ¬ファイルアンチウイルス         </li> <li>             · ウェブアンチウイルス         </li> <li>             · ウェブアンチウイルス         </li> <li>             · ウェブアンチウイルス         </li> <li>             · ウェブアンチウイルス         </li> <li>             · フェブアンチウイルス         </li> <li>             · フェブアンチウイルス         </li> <li>             · フェブアンチウイルス         </li> <li>             · フェブアンチウイルス         </li> <li>             · アンチスパ4         </li> <li>             · アンチスパム         </li> <li>             · スキャン         </li> <li>             · 工会支入キャン         </li> <li>             · スタートアップオブジェクト         </li> <li>             · サービス         </li> <li>             · 更新処理         </li> <li>             · スキン         </li> </ul>	アンチハッカーを有効にする(E)         ● アンチハッカーを有効にする(E)         ● ファイアウォールを有効にする(E)         ● 山・ガー定義のアブリケーションルールで明示的に禁         ● 山・ガーで義のアブリケーションルールで明示的に禁         ● 山・ガーで義のアブリケーションルールで明示的に禁         ● しされていまのをのぞき、すべてのアブリケーション         ● 使入検知システム         ● 使入検知システムを有効にする(I)         設定(T)			
© <u>^1/7</u>	OK(0)         閉じる(C)         適用(A)			

5.アプリケーションのルール内に「java.exe」が存在することを確認します。

📕 設定: アンチハゥカー			= 🗆 🖬	
アプリケーションのルール パケットフィルタリングのルール パーン その他				
	7VZ7J#89@(	9		
アプリケーション	յե–յե	- フォルダ - 🔨	追加(A)	
🗹 🗂 java.exe	2	C:¥Program Fil		
	19	C.¥WINDOWS	偏果(ヒ)	
🗹 🛅 alg.exe	3	C:¥WINDOWS <sup>y</sup> 📄	<b>買出服金(1)</b>	
🗹 🗂 dwwin.exe	2	C:¥WINDOWS	H HANGEN (L	
🗹 🛅 regwiz.exe	2	C:¥WINDOWS		
🗹 📩 rdpclip.exe	3	C:¥WINDOWS		
🗹 🤏 mstsc.exe	3	C:¥WINDOWS <sup>3</sup>		
🗹 🛅 sessmgr.exe	2	C:¥WINDOWS <sup>3</sup>		
🗹 🥥 mobsync.exe	2	C:¥WINDOWS <sup>3</sup>		
🗹 🛅 wuauclt.exe	2	C:¥WINDOWS <sup>3</sup>		
🔽 📄 rundli32.exe	6	C:¥WINDOWS <sup>3</sup>		
🗹 🛅 spoolsv.exe	2	C:¥WINDOWS <sup>3</sup>		
🗹 🧐 msimn.exe	8	C:¥Program Fil		
🗹 💽 OUTLOOK.EXE	8	C:¥Program Fil		
🗹 🧕 explorer.exe	5	C:¥WINDOWS <sup>3</sup>	エクスホ <sup>®</sup> ート(X)	
🗹 🥭 iexplore.exe	11	C:¥Program Fil 💌		
< III		>	インポート(1)	
<u>@ ^ル7</u>		OK( <u>O</u> )	++>tll( <u>C</u> )	

6.「java.exe」を選択し、削除(<u>L</u>)をクリックします。



7.「java.exe」が削除されましたら、 $OK(\underline{O})$ をクリックします。



8.設定画面に戻りましたら、適用(<u>A</u>)をクリックします。

M 設定: カスペルスキーインターネ	りトセキュリティ
設定           ・ファイルアンチウイルス           ・ファイルアンチウイルス           ・ファイルアンチウイルス           ・フェブアンチウイルス           ・フェブアンチウイルス           ・フェブアンチウイルス           ・フェブアンチウイルス           ・フェブアンチウイルス           ・フェブアンチウイルス           ・アンチスパイ           ・アンチスパイ           ・アンチスパイ           ・アンチスパム           ・アンチスパム           ・アンチスパム           ・マンチスパム           ・アンチスパム           ・フスキャン           ・スキャン           ・スタートアップオブジェクト           ・サービス           ・夏新処理           ・データファイル           ・スキシ	<ul> <li>アンチハッカーを有効にする(E)</li> <li>アンチハッカーを有効にする(E)</li> <li>マァイアウォールを有効にする(E)</li> <li>最小限度のセキュリティ</li> <li>ユーザー定義のアブリケーションルールで明示的に禁</li> <li>ユーザーにものをのぞき、すべてのアブリケーション</li> <li>でネットワーク接続が許可されます</li> <li>設定(S)</li> <li>侵入検知システム</li> <li>② 侵入検知システムを有効にする(I)</li> <li>設定(T)</li> </ul>
© <u>^1/7</u>	OK( <u>O</u> ) キャンセル( <u>C</u> ) (適用( <u>A</u> )

9.以上で設定は完了です。